Alcoholism, A.A. and the Professional

アルコホリズム、ＡＡと専門職との関わり

Common A.A. Terminology_
A.A.でよく使われる用語

Professionals
→ 専門職の人たち（医療・カウンセラー・支援者など）

Steps, Concepts, Traditions
→ ステップ・概念・伝統（AAの三つの柱）

Singleness of Purpose
→ 単一の目的（アルコール問題に専念するというAAの原則）

Higher Power
→ ハイヤー・パワー（自分を超えた大きな力）

Anonymity
→ アノニミティ（匿名性）

A.A. Issues for the Professional
専門職の方が知っておきたいAAに関するポイント

Participant attendance requirements
参加者の出席に関する要件
（※AAは強制参加を行わないという原則）

Proof of attendance
出席証明（いわゆる“サイン”や“出席カード”の問題）

Corrections specific issues
矯正施設（刑務所・拘置所）でのAA特有の課題

Religious organization
宗教団体ではない（AAの非宗教性）

Anonymity **アノニミティ（匿名性の原則）**

Problems other than alcohol
アルコール以外の問題について
（AAは“単一の目的”を持つという原則）

Open and Closed meetings
オープン・ミーティングとクローズド・ミーティング

Use of medications
薬物処方の利用（※医療は専門職の領域であり、
AAでは意見しないという立場）

THE FOUNDATION STEPS
基礎となるステップ
（ステップ1～3）

A.A.の12のステップは、
“考え方の癖” を見つめ直す
プログラムです。
唯一アルコールについて触れて
いるのは ステップ1 で、ここで
自分がアルコールに対して無力
であることを認めます。

ステップ1～3は、AAメンバーが
「一人の力ではソブラエティを
保てない」という現実を理解
し、自分の外側にある“力”（ハイ
ヤーパワー）に助けを求めるこ
とを学ぶ段階です。

1. We admitted we are powerless over alcohol-that our lives had become unmanageable.

1. 私たちはアルコールに対し無力であり、人生が手に負えなくなっていたことを認めた。

1. Came to believe that a Power greater than ourselves could restore us to sanity.

2. 自分を超えた大きな力が、私たちを健康な心に戻してくれると言じるようになった。

1. Made a decision to turn our will and our lives over to the care of God *as we understood Him.*

3．私たちの意志と生きかたを、自分なりに理解した神の配慮にゆだねる決心をした。

THE STEPS OF REFLECTION

内省のステップ
（ステップ4〜6）

ステップ4〜6では、自分の行動がもたらした害や、自己中心性を徹底的に見つめます。

特にステップ5は、“絶対的な正直さ”を求める大切なプロセスです。

4. Made a searching and fearless moral inventory of ourselves.

4. 恐れずに、徹底して、自分自身の棚卸しを行い、それを表に作った。

5. Admitted to God, to ourselves, and to another human being the exact nature of our wrongs.

5.神に対し、自分に対し、そしてもう一人の人に対して、自分の過ちの本質をありのままに認めた。

6. Were entirely ready to have God remove all these defects of character

6. こうした性格上の欠点全部を、神に取り除いてもらう準備がすべて整った。

THE STEPS OF RECONCILIATION

和解のステップ
（ステップ7～9）

ステップ7～9は、“現実的な変化を始める”段階で、
自分が与えた害への責任をとり、埋め合わせ（アメンズ）を行うプロセスです。

7. Humbly asked Him to remove our shortcomings.

7. 私たちの短所を取り除いてくださいと、謙虚に神に求めた。

8. Make a list of people we have harmed and become willing to make amends to them all.

8. 私たちが傷つけたすべての人の表を作り、その人たち全員に進んで埋め合わせをしようとする気持ちになった。

9. Made direct amends to such people wherever possible, except when to do so would injure them or others.

9. その人たちやほかの人を傷つけない限り、機会あるたびに、その人たちに直接埋め合わせをした。

THE STEPS OF PERSONAL GROWTH

成長のステップ
（ステップ10〜11）

これは“日々のメンテナンスステップ”と呼ばれます。
継続的に自分を振り返り、ハイヤーパワーとの関係を深めます。

10. Continued to take personal inventory and when we were wrong promptly admitted it.

10. 自分自身の棚卸しを続け、間違ったときは直ちにそれを認めた。

11. Sought through prayer and meditation to improve our conscious contact with God *as we understand Him,* praying only for knowledge of his will for us and the power to carry that out.

11.祈りと黙想を通して、自分なりに理解した神との意識的な触れ合いを深め、神の意志を知ることと、それを実践する力だけを求めた。

THE STEP OF SERVICE

サービスのステップ
（ステップ12）

社会的サポートの研究でも、“他者へ貢献することが自己価値を高める”とされています。AAでは、サービスこそが喜びであり、仲間の回復を支える中心的な行為です。

12. Having had a spiritual awakening as the result of these steps, we tried to carry this message to alcoholics, and to practice these principles in all our affairs.

12. これらのステップを経た結果、私たちは霊的に目覚め、このメッセージをアルコホーリクに伝え、そして私たちのすべてのことにこの原理を実行しようと努力した。

STEP WORK POINTERS
ステップの取り組み方のポイント

- ステップが順番に番号付けされているのには理由があります。
- 回復に取り組んでいる多くのメンバーは、ステップは順番に取り組むことを勧めています。
- 一つのステップを終える前に次へ進むと、回復に必要な部分を取りこぼしてしまう可能性があります。
- ステップは一度きりではなく、何度も取り組むものです。
- 多くのAAメンバーは、12ステップの実践を一生を通して続けるプロセスと捉えており、取り組むたびに新しい気づきがあります。
- ステップに取り組むペースには決まったスケジュールはありません。
- 「週に1つ」といった決まりはなく、同じステップに長くとどまるメンバーもいます。
- 一定回数ミーティングに出席したらそれで十分だ、といった条件づけはAAとしては推奨されません。

The Twelve Steps 12ステップについて

- 犯罪的思考と依存症的思考には、共通する認知のゆがみがあります。
- 個人が置かれている状況―刑事司法の中にいる人であれ、アルコホーリックであれ―にかかわらず、思考の誤りは「誤った前提」に基づいています。
- 司法の対象となっている人の場合、健全な認知スキルを身につける機会が十分に与えられなかったり、認知スキルに大きな欠如がある場合があります。
- アルコホーリックの場合、否認・正当化・合理化といった認知のゆがみが典型的です。
- こうした思考の誤りは、結果として同じ“誤った判断”を生み出します。
- 『アルコホーリクス・アノニマス』に示されている12のステップは、メンバーに“自分の考え方そのもの”を見つめ直すことを求めています。
- アルコールに直接触れているのは、12ステップのうち第1ステップだけです。

Corrections　RNR原則（リスク・ニーズ・応答性）

リスク・ニーズ・ レスポンシビティ(RNR)

- 【リスク原則】 司法による支援や介入は、その人が“再び問題行動へ戻ってしまう危険度”に見合った形で行うべきだという考え方である。特に、リスクが中程度から高い人には、より丁寧で集中的な支援が求められる。

- 【ニーズ原則】 司法制度の介入は“飲酒が問題となる根っこ（根本原因）”に焦点を当て、再び誤った道に戻ってしまう引き金となる要因に、優先的に働きかけるべきだという考え方である。

- 【レスポンシビティ原則】 レスポンシビティ原則とは、支援やプログラムは“その人に合った関わり方”で提供するほど効果が高くなるという考え方である。
つまり、科学的に裏付けのある方法を用いながら、個々の性格・背景・受け取り方に合わせて調整する必要がある。

Criminogenic Needs
犯罪関連ニーズ（変えられる要因）

研究研究によって「犯罪行動と関係がある」と示されているが、本人の努力で変えることができる性格や環境の要素

- ATTITUDE
  物事をどう受け止め、どう考えるか（犯罪を正当化する思考、規範への軽視）
- ASSOCIATES
  普段どんな人と一緒にいるか・交友関係
- WEAK PROBLEM-SOLVING SKILLS
  問題解決能力の弱さ（問題をうまく解決できないこと・対処力の不足）
- FAMILY
  家族関係（家の中の人間関係や支え合いの状況）
- SUBSTANCE ABUSE
  物質乱用（アルコールや薬物などの依存・乱用）
- EMPLOYMENT
  雇用状況（安定した仕事があるかどうか）
- LACK OF VOCATIONAL AND EDUCATIONAL SKILLS
  職業・教育スキル（技能）の不足
- ANTI-SOCIAL LEISURE TIME
  人付き合いを避けたり、問題行動につながりやすい形で時間を過ごす

Criminogenic needs addressed within AA
AAが対応できる領域

AAのプログラムや活動を通じて、以下の犯罪生成ニーズ（再犯につながりうる変化可能な要因）に対処します。

- COGNITIVE THINKING
  認知的な思考パターン（否認、自己中心的な考え方、問題解決能力の欠如など）
- FAMILY
  家族関係（回復を促進する、または悪化させる可能性のある家族との関係性の再構築）
- FRIENDS
  仲間・交友関係（飲酒や薬物使用を伴わない、回復志向の健全な仲間づくり）
- 暇な時間の過ごし方 (Leisure Time)
  - ミーティング（例会）、ピクニック、ソバー・ダンス、コンベンション、サービス活動
  - サービスをすることは、時間を使うだけでなく、人々と知り合い、そのグループに所属意識を感じ始めるための素晴らしい方法です。椅子の片付けやコーヒー・サービスを手伝うことは、多くのメンバーがAAの中で居心地の良さを感じ始めるきっかけとなります。
- MENTOR
  メンター（指導者）（AAのスポンサーがこれに相当し、より回復が進んだメンバーから指導やサポートを受けることで、反社会的な仲間の影響を打ち消す役割を果たす）

RISK　リスク原則 (RISK Principle)

- Risk should be used to determine the level of treatment and criminogenic need should be the focus of treatment where the goal is to reduce the risk of future criminal behavior and involvement of the criminal justice system.

• リスクは、治療（介入）のレベルを決定するために用いられるべきであり、犯罪生成ニーズは治療の焦点とされるべきです。
• その目標は、将来の犯罪行動および刑事司法制度への関与のリスクを低減することにあります。

RESPONSIVITY　レスポンシビティ原則

- Be responsive（応答的、個別対応）であること
  介入や治療の効果を最大化するために、個人の受け入れやすさや特性に合わせて調整すべき要因です。
- Learning style
  学習スタイル（例：視覚型、聴覚型、体験型など、情報を受け取る際の好み）
- Gender
  性別
- Ethnicity
  民族性
- Culture
  文化
- Motivation
  動機付け（治療やプログラムへの参加意欲のレベル）

Proof of Attendance

出席の証明

出席は、シラフ（断酒状態）
であることの保証ではありません。

裁判所は、参加者に対して説明と準備
を提供します。

匿名性の問題（課題）

グループによって
対応が異なります。

AAのメンター（スポンサー）
または参加者本人が裁判所に戻る

資料：「AAガイドライン：裁判所、飲酒運転（DWI）
および類似のプログラムとの連携について」

The SOAR Questionnaire SOAR質問票

この質問票は、AA（アルコホーリクス・アノニマス）などの回復プログラムへの参加状況と取り組みの度合いを評価するためによく使われるものです。

1. スポンサーを持ち、ステップに取り組んでいますか？

a. スポンサーがいない場合、それはなぜですか？ スポンサーを見つける予定はありますか？
b. 今、何番目のステップに取り組んでいますか？ ステップに取り組むとは、どういう意味ですか？

2. どのくらいの頻度でミーティングに出席していますか？

a. どのような種類のミーティングに参加していますか？
b. ホームグループ（自分の所属グループ）はありますか？
c. 90日で90回のミーティングに参加していますか？

SOAR Questionnaire Continued　SOAR質問票 (続き)

3. フェローシップ（仲間たちとの集まり）の中でどのくらい活発に活動していますか？

a. ミーティングに早く着きますか？
b. ミーティング会場に入るのは1番遅く、そして、会場から出ていくのは1番早いですか？
c. ミーティング前後の仲間たちとの談笑を楽しんでいますか？
d. ミーティングのために何か手伝う事を自ら行っていますか？

4. ミーティングで他の人たちと、どのように関わっていますか？

a. ミーティングで他の人たちに共感できますか？それとも違い探しをしていますか？

資料：「パートナーズ・イン・チェンジ」- エドワード・リード

Religious Organization?

宗教団体か？

- AAは「宗教的」ではなく、霊的なプログラムです。
  「私たちが理解するところの神」
  （第3ステップと第11ステップに登場する表現。特定の教義を強制しないことを示しています）
  「自分を超えた大きな力」として描写されています（第2ステップ）

- 全ステップへの導入として
  「次に、私たちが踏んだステップを示す。回復のプログラムとして示されているものである。」

- 12ステップは、あくまでも「提案」（suggestion）としてのみ意図されています。

- 資料：AAについて – AAのプログラム – 「宗教的ではないが霊的である」

- A. A.’S traditions on anonymity and non-affiliation have made it difficult to do controlled studies on the effectiveness of A.A.
- Another tradition suggest that A.A. avoid controversy and express no opinion on outside issues such as whether others consider A.A. to be effective.
- AA does not have a membership log.
- AA does not keep statistics.

- AAの「匿名性（アノニミティ）」と外部との提携を行わない（非提携の）伝統が、AAの有効性に関する統制された研究（Controlled Studies）を行うことを困難にしています。
- 別の伝統では、AAは論争を避け、他の人々がAAを有効であると見なすかどうかといった外部の問題についてはいかなる意見も表明しないよう示唆しています。
- AAには会員名簿がありません。
- AAは統計を取っていません。

•In 2020, a rigorous independent study was conducted by Dr. John Kelly, professor of Psychiatry at Harvard University and Dr. Keith Humphreys, professor of Psychiatry of Stanford University.
•The study was published by the medical journal “Cochrane Database of Systematic Review”.
• The study examined 25 previous studies from around the world and found that A.A. works as well or better than other scientifically proven treatments for alcoholism.
•The studies reviewed were sizable and included 150 scientists, 67 institutions and 11,000 individuals.
•The study noted individuals who participate in A.A. are 20-60% more likely to end up abstinent than they are with other treatments like Cognitive Behavioral Therapy (CBT), outpatient treatment delivered by a mental health, professional, meditation or educational programs.
•A.A increases your willingness to get sober.
•A.A can increase your motivation to get sober.

- • 2020年、ハーバード大学精神医学教授のジョン・ケリー博士と、スタンフォード大学精神医学教授のキース・ハンフリーズ博士による厳密で独立した研究が実施されました。
- この研究は医学ジャーナル「Cochrane Database of Systematic Review」に掲載されました。
- 研究では、世界中の25の先行研究を検証し、A.A.（アルコホーリクス・アノニマス）が、アルコール依存症に対する他の科学的に実証された治療法と同程度、またはそれ以上に効果があることが明らかになりました。
- 対象となった研究は規模が大きく、150人の科学者、67の研究機関、11,000人の参加者が含まれていました。
- 研究では、A.A.に参加した人は、認知行動療法（CBT）、精神医療専門家による外来治療、瞑想、教育プログラムといった他の治療と比較して、禁酒に至る確率が20～60%高いと指摘されています。
- この研究では、A.A.への参加が『ソブラエティへの意欲や動機づけを高める』ことも指摘されています。

- AA can influence the change in social network.
- Altruism– the experience of helping others.
- Setting up of chairs, making coffee, sponsoring, service etc.
- A.A. can be the safe haven for individuals who are seeking to be sober.
- The A.A. members can be a role model and inspire hope.
- An individual can hear a story that sounds like theirs. The person lost their job, lost their family, went to prison and now they are doing great.
- A.A. inspires hope.

“Youtube Video: Does Alcoholics Anonymous Work?” https://www.youtube.com/watch?v=lgMjTiwh_LA&t=9s

• AA は、個人の社会的ネットワーク（交友関係・人間関係）の変化に影響を与えることがあります。
利他主義（アルトルイズム）――他者を助けるという経験。
•椅子を並べたり、コーヒーを淹れたり、スポンサーとして支援したり、サービス活動をしたりといったことです。
•AA は、断酒を求める人々にとって安全な居場所となりえます。
•AA の仲間はロールモデル（模範）となり、希望を与えてくれます。
•自分とよく似た体験談を耳にすることもあります。
仕事を失い、家族を失い、刑務所に行ったけれど、今は見違えるほど回復している――
•AA はそのような「希望」をもたらします。

「YouTube 動画：Alcoholics Anonymous は効果があるのか？」

SUPPORT AND STABILITY WITH FAMILY

家族とのサポートと安定

- オープンミーティングには、家族は常に歓迎されており、特に（ソーバー）記念日のお祝い（アニバーサリー）では、成功体験を聞き、困難を乗り越えてきた他の家族と知り合うことができます。

- オープンAAミーティングに出席することは、家族がアルコール依存症の性質を理解する上でも役立ちます。

- アラノン家族グループ（Al-Anon Family Groups）も、家族メンバーにとって素晴らしいサポートの源です。アラノンおよびアラティーン（Alateen）のミーティングは、AAミーティングの近くの部屋で開催されていることが多く、家族揃ってミーティングの夜を過ごすことが容易になっています。

薬物療法の使用
Use of medications

治療裁判所（トリートメント・コート）の対象者

- （薬物乱用者やアルコール依存症者が多く、薬物療法を必要とするケースが多い）
- 薬物療法補助治療（MAT：Medication Assisted Treatment）が、最善の診療（ベストプラクティス）とされています。
- 併存疾患（Co-occurring disorder）の診断
- 不安症およびうつ病
- 慢性的な痛み
- （依存症と併存しやすい身体的課題の例）
- 私たちは医師ではありません。
- 「他の身体的および／または精神的な障害を和らげたり、制御したりできる薬を、いかなるアルコール依存者からも奪うのは、同様に誤りである。」
- 資料：「AAメンバーにとっての処方薬とドラッグ」

Singleness of Purpose

目的の単一性

Not an issue that started with Drug Courts
ドラッグコートから始まった問題ではない

共同創設者であるビル・W. (Bill W.) は、1958年に薬物依存に対処する記事を書き、モルヒネ、ヘロイン、その他の麻薬、錠剤、バルビツール酸塩、グーフボール（当時のスラングで様々な鎮静剤や薬物を指す）を具体的に挙げています。これは、AA創設者自身が薬物問題にも関心を持っていたことを示しています。

The only requirement for membership is a desire to stop drinking.
AAのメンバーになるために必要なことはただ一つ、飲酒をやめたいという願いだけである。

Alcoholic vs. Non-alcoholic drug addicts
(アルコホーリク 対 アルコール以外の薬物依存者)

"I see no way of making non-alcoholic addicts into A.A. members."
「私は、非アルコール性の薬物依存者をAAのメンバーにする方法を見出すことはできない」

Resource: "Problems other than Alcohol." Pamphlet by Bill W.
出典: ビル・W.による『アルコール以外の問題 (Problems other than Alcohol)』

A SPONSOR IS: スポンサーとは:

An alcoholic who has made some progress in the recovery program and can share that experience on an individual basis.

• 回復のプログラム（12のステップ）である程度の進歩を遂げたアルコホーリクであり、その経験を個別に分かち合うことができる人。

A friendly guide during the first days and weeks when A. A. seems strange and new.

• AAが奇妙で新しいと感じられる最初の数日、数週間における親しみやすい案内役（ガイド）。

Someone who will listen and not judge.

•批判せず、耳を傾けてくれる人。

We sponsor people because helping others helps us maintain our own sobriety."

• 「私たちは、他人を助けることが、自分自身のソブラエティ（断酒を続けている状態）を保つのを助けるからこそ、人々のスポンサーになるのです。」

Bridging the Gap

ギャップを埋める

- Bridging the Gap coordinators help establish contact between potential and current AA members

ブリッジ・ザ・ギャップ コーディネーターは、AA につながりを求める人と現メンバーとの橋渡し役として、連絡が取れるよう支援します。

- Studies have shown that this contact with sober AA members can greatly increase the chances of people remaining sober.

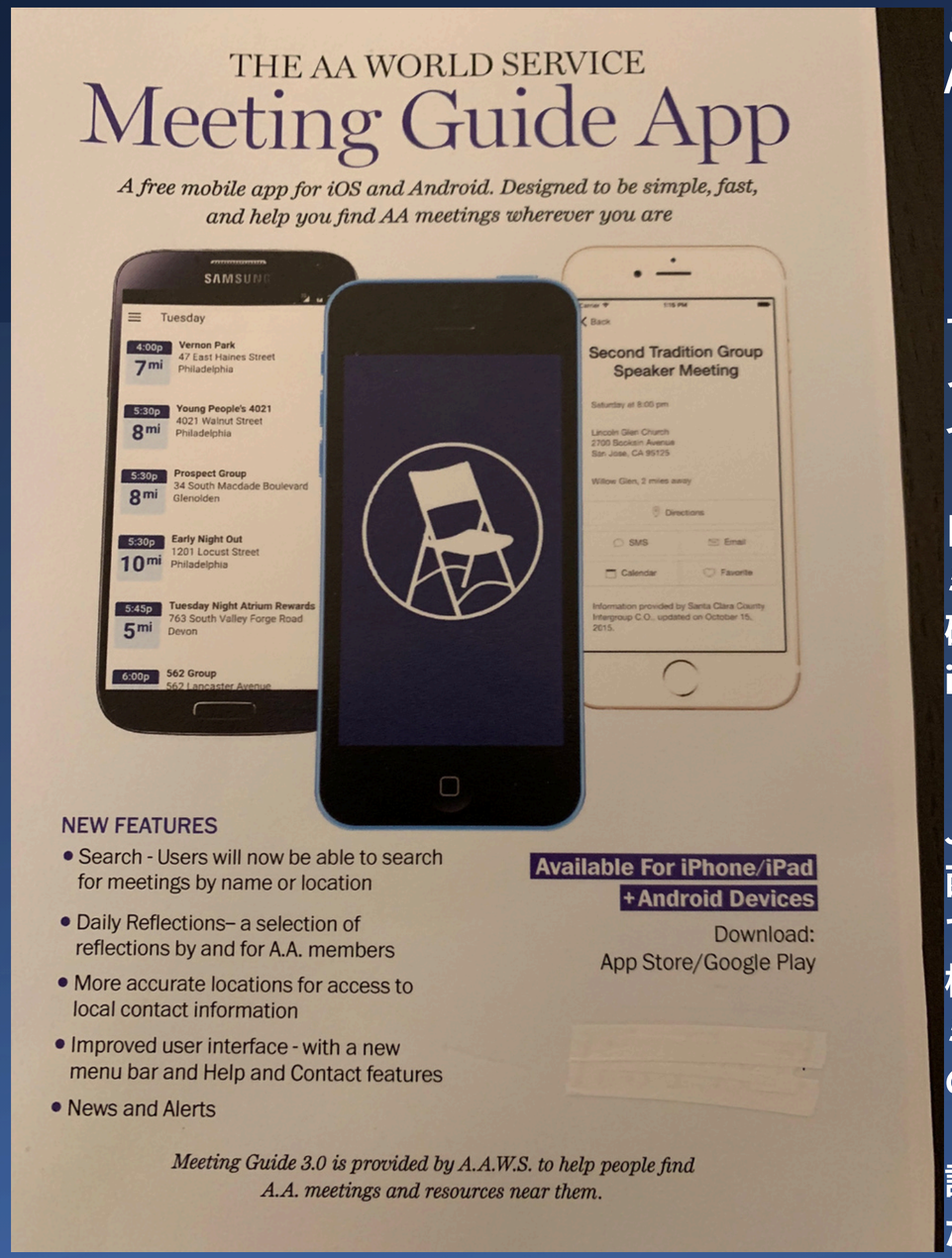
調査によれば、しらふの AA メンバーとのこうしたつながりは、回復者が引き続きしらふでいられる可能性を大きく高めることが示されています。

- This works best when the contact is made within 48 hours of leaving the institution.

この支援は、施設を出てから48時間以内に連絡が行われた場合に、最も効果を発揮します。

- The Bridging the Gap Coordinator can be reached at btg-chair@eamo.org.

「Bridging the Gap」のコーディネーターには、btg-chair@eamo.org で連絡を取ることができます。



この写真に写っているのは、
A.A.ワールド・サービス
（A.A. World Services）が提供する

「Meeting Guide App
（ミーティング・ガイド・アプリ）」の広告です。AAメンバーが、どこにいてもAAのミーティングを見つけるのを助けるための無料のモバイルアプリです。

日本国内でも、位置情報を使って現在地近くのミーティングを探したり、時間や場所の情報を確認したりするために活用されています。
iOS・Android両方に対応しています。

2025年現在、日本では
JOI（日本オンラインインターグループ）、関西地域、日本全国の英語ミーティングが連携しています。他の国内地域に関しては順次準備、検討をしている状態です。
ミーティングの種類、場所、オンラインの場合の接続方法などは簡単に検索できます。

詳細は各オフィス、グループにお問い合わせください。

Different meeting styles

AAミーティングの様々な形式（スタイル）

12 Steps & 12 Traditions
12のステップと12の伝統 (AAの基本となる二つのテキスト『12のステップと12の伝統』を読み、学び、話し合う形式)

As Bill Sees It
ビルはこう思う (共同創設者ビル・W.のエッセイ集『Bill Sees It』を基にした、内省や分かち合いを行うミーティング)

Atheist/Agnostic
無神論者／不可知論者（特定の宗教や神の概念にこだわらないメンバー向けのミーティング）

Babysitting Available
託児サービスあり（子ども連れのメンバーが参加しやすいよう託児サービスが提供されるミーティング）

Big Book
ビッグブック （AAの基本テキスト『アルコホーリクス・アノニマス』を読み、研究する形式）

Candlelight
キャンドルライト（ろうそくの灯りの中で行われる、静かで内省的なミーティング）

Closed
クローズド（アルコール問題を持ち、「飲酒をやめたい」という願望を持つアルコホーリク本人のためのミーティング）

Daily Reflections
今日を新たに（AAの日々の黙想集を読み、それについて分かち合う形式）

Digital Basket
デジタルバスケット献金を現金だけでなくオンライン決済で行える

Discussion
ディスカッション（特定のテーマについて参加者が意見を分かち合う形式で）

English
英語で行われるミーティング

Gay LGBTQ
ゲイ　LGBTQ（性的指向・性自認に関する安心できる環境を必要とする人のために開かれている、LGBTQ当事者が主体のAAミーティング）

Grapevine
グレープバイン（AAの国際誌『グレープバイン』（日本版はBOX-916）の記事を読んで分かち合う形式

Literature	Living Sober
LGBTQ	Meditation
Men	Newcomer
Online Meeting	Open
Spanish	Speaker
Step Meeting	Tradition Study
Wheelchair Access	Women
Young Person	

This is an Open Meeting of Alcoholics Anonymous
これは、アルコホーリクス・アノニマスのオープン・ミーティング（どなたでも参加できる集まり）です。

- This is an open meeting of Alcoholics Anonymous. We are glad you are all here – especially newcomers.

このミーティングはAAのオープン・ミーティングです。皆さん、ようこそいらっしゃいました。私たちは、新しい仲間の方をはじめ、ここへ見えた皆さんを喜んでお迎えいたします。

- In keeping with our singleness of purpose and our Third Tradition which states that “The only requirement for A.A. membership is a desire to stop drinking,” we ask that all who participate confine their discussion to their problems with alcohol.”

「AAの目的は一つ」であり、伝統3は「AAのメンバーになるために必要なことはただ一つ、飲酒をやめたいという願いだけである」と述べています。ここではアルコールの問題だけが分かち合われるようお願いいたします。

This is a Closed Meeting of Alcoholics Anonymous

これは、アルコホーリクス・アノニマスのクローズド・ミーティング（当事者のみの集まり）です。

- This is a closed meeting of Alcoholics Anonymous. In support of A.A.’s singleness of purpose, attendance at closed meetings is limited to persons who have a desire to stop drinking.

このミーティングはAAのクローズド・ミーティングです。クローズド・ミーティングは、「AAの目的は一つ」という理念に基づき、飲酒をやめたいと願っている人だけで行っています。

- If you think you have a problem with alcohol, you are welcome to attend this meeting. We ask that when discussing our problems, we confine ourselves to those problems as they relate to alcoholism.

ご自分にアルコールの問題があるとお考えでしたら、どうぞご出席ください。皆さんを喜んでお迎えします。ここではアルコホリズムにかかわることだけを分かち合うようにしていますので、よろしくお願いします。

- **Corrections articles available for free**
- Below please find links to two articles written by Nancy McCarthy (past Class A trustee) for the corrections professional community.
- Perspectives is published by the American Probation and Parole Association (APPA), an association for corrections professionals involved in pre-trial, diversion, probation and parole.
- https://www.appa-net.org/eWeb/docs/APPA/pubs/Perspectives/Perspectives_V45_ N3/#page=16
- Corrections Today is published by the American Correctional Association (ACA), the professional organization for those working in jails and prisons. ACA also provides the jail and prison accreditation that most facilities seek.
- https://user-3imepyw.cld.bz/corrections-today-january-february-2022-vol-84-no-1
- Both magazines are available free online to members and the general public. We have also been told by ACA and APPA that we are free to distribute the articles as we wish. There are no propriety issues, no paywall, no cost, no copyright issues. It is asked we note the title of the magazine. As members work with the local corrections entities, including in both confined and community corrections settings, copies of the article could be shared to help educate professionals.

矯正（更生）関連の無料記事について

- 矯正（Corrections）関連の記事を無料で利用可能
- 以下に、ナンシー・マッカーシー氏（元A類常任理事）が矯正（更生）の専門家コミュニティのために執筆した二つの記事へのリンクがあります。
- 『Perspectives（パースペクティブズ）』は、米国保護観察・仮釈放協会（APPA）によって発行されています。APPAは、公判前手続き、更生プログラム（ダイバージョン）、保護観察、仮釈放に関わる矯正専門家のための協会です。
- リンク: https://www.appa-net.org/eWeb/docs/APPA/pubs/Perspectives/Perspectives_V45_N3/#page=16
- 『Corrections Today（矯正トゥデイ）』は、米国矯正協会（ACA）によって発行されています。ACAは、刑務所や拘置所で働く人々のための専門組織です。ACAは、ほとんどの施設が取得を目指す刑務所・拘置所の認定も行っています。
- リンク: https://user-3imepyw.cld.bz/corrections-today-january-february-2022-vol-84-no-1
- これらの雑誌はどちらも、会員および一般の方にオンラインで無料で提供されています。また、ACAとAPPAから、これらの記事を自由に配布**して構わないという許可を得ています。所有権の問題、ペイウォール（有料制限）、費用、著作権の問題は一切ありません。ただし、雑誌のタイトルを明記するよう依頼されています。AAのメンバーが、施設内（confined）および地域社会での矯正関連団体と連携する際、これらの記事のコピーを共有することで、専門家の教育に役立てることができます。